

議会を傍聴しましょう

傍聴を希望される方は市役所五階の議会事務局へお問い合わせください。

孤独死防止策と外国人会議開催

今村路加(社民・生弁)
多摩二コータウンのある多摩市では、一年間に高齢者の孤独死が約三〇件もある。この対策として、世田谷区では、三〇名の個別収集を行っている。安否確認を行っている。町田市でも孤独死ゼロを目指すべく考えますが、取り組みはどのようになっているのか。

保健介護推進担当部長
ひとり暮らしの高齢者の方について、その把握に努めています。具体的には、配食サービス、老人福祉電話、緊急通報システムをひとりで暮らしのお宅に設置を行っています。事故の防止については、地域の見守りなどが支え

市長
行政との交流とかが、あるいは、市政に何かの形で要望があることについては、聞く機会を持ちたい。町田市に対する印象も聞きたい。この問題は、国際協会と今後の協議とさせていただきます。と思っています。

小野路・堂場入の環境保全を

岩下正充(公明党)
小野路町堂場入地区の防災・環境の管理について、急傾斜地崩壊防止事業の推進はどうか。

高山助役
市、東京都を含めて、急傾斜地の崩壊防止事業として行いたい。前提として権利者の同意が必要である。多摩都市モノレール導線の取組も現状は、確保されている状況で、引き続いて次の整備路線に要望していきたい。と思っています。

市長
区域内の国有地の測量は、どうなっているか。区域内の国有地の測量は、大蔵省に地元に入って地権者との関係を含めて、打ち合わせと境界確定を要している。調整区域内の仮設建物の管理はどうなっているか。牧田助役
根気よく建物の除去について指導しているのが実態です。多摩都市モノレール導入の取組も現状は、確保されている状況で、引き続いて次の整備路線に要望していきたい。と思っています。

小山地区学校施設環境の整備等

岩瀬雄二(自由民主党)
小山小の卒業生は、堺中と志生中に分かれて進学し、バス通学を強いられている。一八年前、中学校新設の請願が全会一致で採択され、都施行の開発区域内に用地を確保し、建設することとした。現在区域内には、大型高層住宅建設が進み、更に計画されている。また、小山小は、市内最大の生徒数である。小山地区の小・中学校の設置構想を問う。

市長
教育委員会でも検討しており、東京都に対して、当初の計画に沿った学校用地の確保について協議していきたいと考えています。

教育長
小山小学校が満杯になることで、平成一六年度中と志生中に分かれて進学し、バス通学を強いられている。一八年前、中学校新設の請願が全会一致で採択され、都施行の開発区域内に用地を確保し、建設することとした。現在区域内には、大型高層住宅建設が進み、更に計画されている。また、小山小は、市内最大の生徒数である。小山地区の小・中学校の設置構想を問う。

鶴川駅前市民センターに望む

齊藤稔(自由民主党)
鶴川駅西側(八千代線)の場所(約六〇〇坪)に計画している「駅前市民センター」について、鶴川の中心地、駅前であること十分考慮してほしい。

市長
いろいろな要望が出されており、それらをたたき台にしなが、突っ込んで議論をしていきたい。

鶴川中学校移転後の跡地と現市民センターとの機能分担を配慮してほしい。市長
子どもセンターを鶴川の跡地へつくることは、明らかにしています。鶴川の図書館も跡地へ持つていったらという気持ちはあります。

施政方針と諸課題の整合性は

戸塚雅夫(市民派クラブ)
国・都の行政の取り組みに言及しているが、町田市行政の取り組み化については、基本的な考え方は、市行政のさまざまな運営において、一層のスムーズ化、見直し、あるいは民間へ移行できるものは移行するとか、という考え方をこの中で触れています。

市長
本庁舎集中型を目指すのが、支所機能を充実させる分散型を目指すのか。また、当初の耐震補強工事及び、過去に流した耐震補強工事の整合性は、市長
将来は、四〇〇万、五〇〇万という都市になっていく

公的保育行政のさらなる拡充を

殿村健一(日本共産党)
待機児童解消や延長保育にむけた保育所の増設や老朽施設の改修、保育士の増員を行うべきだがどうか。

高山助役
待機解消を促して、このし年度末の段階では一〇〇人くらいに減り、弾力の運用によって一〇〇の台まで落とすという努力をしています。大規模改修工事、予算の枠内で毎年計画的に努力しています。

建設部長
一四年度から着手したいと考えていますが、基準どおり設置いたします。二二、三三灯必要になり、一年間では無理かと思っております。なるべく早い時期に設置していきたいと考えています。

予算のあらまし

平成二二年度当初予算は、一般会計一、〇九六億九、三二六万六千円、特別会計(企業会計含む)九六三億四、五六六万三千円、平成二二年度当初予算との比較では、一般会計で七・三%増、特別会計で七・三%増、全体で三・七%の増となっております。

歳入の主なものは、市税六四三億八、九八〇万円、地方消費税交付金二九億二、〇〇〇万円、地方特別交付金一五億七、五〇〇万円、国庫支出金九七億一、三〇〇万円、都支出金九六億一、五二八万二千元、繰入金五億七、〇〇九万五千円、諸収入二六億四、八〇八万六千円、市債四八億五四〇万円です。

歳出の主なものは、次のとおりです。【総務費】庁舎維持管理費の本庁舎耐震補強工事費(平成二二一四年度債務負担行為事業)八、七〇〇万円、町田市民ホール耐震補強及び改修工事費三億六、五九〇万円、(仮称)三輪コミュニティセンター(仮称)三輪コミュニティセンター建設工事費(一部平成二二一三年度債務負担行為事業)二億八、三二八万三千円。

【民生費】福祉総務事務費の鉄道駅エレベーター等補助金一億一、七三三万二千円、生きがい健康づくり推進事業費の健康通信技術(ICT)講習事業委託料一億四、五二〇万円。

【衛生費】緑地保全費の緑地購入費三億八、三二二万四千円、病院事業会計費の病院拡張用地購入費二億八、九五一万七千円、ごみ減量対策費の粗大ごみ等リサイクル業務委託料二億七、六一万五千円。

【教育費】学校管理運営費の昼食注文等委託料一、一六万二千円、学校施設整備費の学校施設整備工事費(中学校、平成二二一三年度債務負担行為事業)一、一三三年度債務負担行為事業)八、八六六万、学校適正配置事業費の学校施設整備工事費(小学校)(一部平成二二一三年度債務負担行為事業)一、四四八、二〇〇万円、公民館移転事業費の内装工事費(平成二二一四年度債務負担行為事業)三億二、七三〇万円。